

商品の包装を簡素化して

ごみを減量しましょう

ごみ減量、リサイクルは、時代の趨勢ですが、都留市でも皆さんのご協力を戴く中で、資源ごみの回収やごみ袋の指定制を実施してまいりました。

お陰様で、資源ごみ回収は平成六年度で六二九七の実績がありました。またごみ袋指定制が開始された平成六年十月以降の一年間、それ以前の一年間を収集した可燃ごみと不燃ごみで、大きな減量の成果が出ています。

これからも市民の皆さんとともに、ごみ減量のため有効な対策を推し進め、最終的にはごみをなくす完全な「リサイクル社会」を築きましょう。

今年度は、商品の包装に焦点を当て、十一月一日から「過剰包装の廃止」を商店と消費者の皆さん双方のご理解により推進していきたいと思えます。買物の際、包装を減らすよう市民の皆さんのご協力をお願いいたします。

具体的な行動は、つぎのとおりです。

商店は 無包装または簡易包装に努めてください。

消費者は 必要のない包装は断りましょう。包装を必要とする場合は、なるべく簡易なものにしましょう。

適正包装の例

化粧箱……粘着テープで止める程度にしてください。
白地箱……簡易包装

※商店は、無用な箱は廃止するようメーカーや問屋に働きかけ、包装の簡易化に努めてください。
包み紙 二重、三重になる包装はやめましょう。

包み紙は、なるべく小さいもの



を使いましょう。
レジ袋 必要の範囲のし紙 短冊型。

収集ごみが一割減りました

昨年十月一日から、ごみ袋指定制を試行し、本年一月五日から実施しましたが、試行開始から一年が経過した時点で収集ごみについて大月都留広域事務組合の集計が出ました。

その結果、つぎの表の通り可燃・不燃ごみとも一割以上減量されたことが明らかになりました。

今後もごみ減量を心がけてくださるようお願いいたします。

区分	H5.10 ~ H6.9	H6.10 ~ H7	比較	%
可燃ごみ	6,810t	6,100t	-710t	-10.4%
不燃ごみ	1,237t	1,107t	-130t	-10.5%

第2回大月・都留リサイクルフェア

日時 11月11日 午後1時30分~3時30分 (小雨決行)
会場 大月都留広域事務組合多目的広場 ☎(43)8321
ごみ減量対策の一環として、「不用品の再利用」と「空き缶等の再資源化」を推進するために、大月・都留市民を対象としたリサイクルフェアを開催します。

- ①リサイクル品 (バイク、自転車、家電製品、シンなど) の展示 ~希望者へ差し上げます~
- ②フリーマーケット (遊休品を扱う店) ~安くお譲りします~
- ③リサイクル情報コーナー
~「ピアノのなど大型不用品」ゆずりたい人、ゆずり受けたい人の情報を受付けます~
- ④生ごみ「ボカシ肥料」の作り方
手作り石鹸の作り方
- ⑤牛乳パック、アルミ缶リサイクルコーナー

先着順で差し上げます。

- 1 組合指定ごみ袋10枚 (先着300名)
 - 2 家庭菜園用肥料 5 kg 入 (先着200名)
 - 3 トイレットペーパー (先着500名)
 - 4 トレー10個持参の方にエンピツ立て (先着200名)
 - ①金魚すくい大会 午後2時~チャレンジしよう~
 - ②マスのつかみ取り大会 午後2時30分~何匹とれるかな~
 - ③わた菓子プレゼント~みんなで来てください~
- *フリーマーケットは当日でも出店手続きできますのでふるって参加してください。

*当日、アルミ缶、牛乳パック、トレーを引取りますので出来るだけもって来てください。
参加団体 大月都留リサイクルネットワーク 他多数の団体
問合せ先 主催 大月都留広域事務組合 ☎(43)8321
共催 大月市、都留市

市民の協力でごみの減量を

都留市商店連合会
会長 佐藤尊平さん



市民の皆様の理解を得るため、市役所職員の方々と、市内九プロックで実施された説明会に参加してきました。そして、ご婦人層の意識の高さを感じました。

ごみ減量やリサイクルについては、平成三年十月に「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」が改正されて以来、市でも保健環境課を主体に推進してきました。商店連合会でも何かごみ減量化やリサイクルについて協力できないかと検討し、大型店にも呼びかけ、連絡協議会を発足させていただきました。その結果、簡易包装についても年間行事として推進していくことになりましたが、この問題は、どうしてもお客さんの理解が必要です。

商店連合会では、市民の皆さんのご協力を得る中で、ごみ減量化、リサイクルに向け、積極的に協力してまいりたいと考えています。